

資料1 創価大学経済学部 Curriculum Check List (CCL)一部抜粋 (学部ホームページ公表)

注意：ラーニングアウトカムズにはさらに細目があるが、それらの項目については承諾している。この表では、細目に該当するものは○、つよく関連するものには◎が付けられている。

創価大学 経済学部の 教育目標	Learning Outcomes	細目	創価 大学 の 就業 力	経済と歴史		ミクロ経済学	
				科目教育目標		科目教育目標	
				世界・日本 の経済史に ついての諸 学説を学ぶ	現代の経 済問題を歴 史的な文脈 から理解す る力を培う	経済理論 の基礎を 習得する	学習した理 論を使って 現実の経済 問題を考察 できる能力 を培う
体系的な経済学 教育を通して、問 題発見・解決能 力と論理的思考 力を備えた人材 を育成する。	①経済学を用い て、社会現象を 複眼的視点から 論理的に理解・ 分析することが できる	日常の経済問題を理解できる(B)	論理的 思考力			◎	◎
		政策提案を理解し評価するために経済理論を用いることができる(B)		○		◎	◎
		複数の主張を比較できる(B)		○			
		社会問題を複数の視点から分析できる			◎		○
		仮説・検証のプロセスを理解している(B)					
	②数量的・統計 的データを正確 に理解すること ができる	数学の基礎的スキルを身につけている	数量的 分析力				
		社会分析での数量データの役割を理解している(B)				○	
		統計的な分析の結果を理解し解釈できる(B)					
		自ら統計的な分析を行える(B)					
		自らデータを集め統計的分析を行える(B)					
	③日本・世界の 経済・社会的な 知識を持ち、活 用することができる	ICTを用いて、多様な情報を収集・分析して適正に判断し、モラルに則って効果的に活用することができる(G)	課題設 定力				
		現代世界の社会問題について適切な知識を持っている			○	○	○
		現代日本の社会問題について適切な知識を持っている			○	○	○
		人類の文化・歴史について適切な知識を持っている		◎			
		日本の文化・歴史について適切な知識を持っている		◎			
明確な解答のある問題を解くことができる(B)					○	○	
社会現象の中に、自ら問題を発見することができる				○	○	○	
明確な解答のない問題を解決することができる(B)					○	○	
獲得した知識に基づきながら、既成概念にとらわれずに独創的に問題を設定し、解決策を提示できる		創造的 思考力					

英語による経済学教育を通して、グローバル社会で役立つコミュニケーション力を備えた人材を育成する。	④日本語や英語を用いて、他者の考えを正確に理解し、自らの考えを明確に伝えることができる	日本語で社会科学の専門書を読むことができる	言語表現力	○			
		日本語で明確な文章を書くことができる					
		英語で社会科学の専門書を読むことができる					
		英語で明確な文章を書くことができる					
	⑤世界の多様性、社会問題の多面性を理解し、適切な議論を行うことができる	日本語で明確なプレゼンテーションが行える	討議推進力				
		英語で明確なプレゼンテーションが行える					
		日本語で社会問題・経済問題をディスカッションできる					○
		英語で社会問題・経済問題をディスカッションできる					
人間主義に基づく経済学教育を通して、人間を温かい目で見ることの出来る、世界に通用する人材を育成する。	⑥自らの行動を律し、他者と協力しながら、目的を計画的に実現できる	自らを律して行動できる(G)	自己育成力				
		自律的な学習者として、自ら課題を決めて学習を続けられる(G)					
		他者と協調・協働して行動できる(G)	対人基礎力				
		他者に方向性を示し、目標の実現のために動員できる(G)					
		自ら定めた課題を計画的に実行できる	目標達成力				
		自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる(G)					
	⑦社会の発展、人びとの幸福への方途を、経済学を用いて提案することができる	社会の一員としての意識を持ち、義務と権利を適正に行使できる(G)	環境変革力				
		社会で困窮する人びとの問題に関心を持ち、その解決策を冷静に考えることができる					
		効率性と公正の関係を理解し、よりよい社会のありかたを考えることができる					
		建学の理念を深く理解し、世界の平和と人類の幸福のために積極的に行動できる					

例: 1年次科目で、理論的思考力を伸ばす科目をみつきたい場合

「就業力」とは？

「就業力」とは、社会で活躍するための力です。創価大学では「就業力」を10の力に定義しています。

「就業力」の詳細は、「就業力教科書(web版)、または「就業力教科書」の冊子で説明されています。

本ページでは、その「就業力」が身につく科目を「就業力」別に検索することができます。

1. 履修年次を選択する

1年

2. 身につけたい力と科目の関連度を選択する

非常に高い(◎)のみを表示する

非常に高い(◎)と高い(○)を表示する

3. 身につけたい「就業力」を選択する

① 論理的思考力

科目名	到達目標	関連度	必要な力とその関連度 (学部ラーニング・アウトカムズ)
経済と歴史	現代の経済問題を歴史的な文脈から理解する力を培う	◎	◎:社会問題を複数の視点から分析できる
ミクロ経済学	学習した理論を使って現実の経済問題を考察できる能力を培う	◎	◎:日常の経済問題を理解できる(B) ◎:政策提案を理解し評価するために経済理論を用いることができる(B)
マクロ経済学	雑誌・新聞・テレビ等で経済に関する報道・議論・解説を理解する力を培う	◎	◎:日常の経済問題を理解できる(B) ◎:政策提案を理解し評価するために経済理論を用いることができる(B)
経済・経営のための統計入門	パソコンを使って社会事象に関する初歩的なデータを解析する	◎	◎:日常の経済問題を理解できる(B)
Global Economy Lecture	経済理論の基礎を英語で学ぶ	◎	◎:日常の経済問題を理解できる(B)

資料3 創価大学経済学部 卒業生アンケート

実際の卒業アンケートは全部で6ページになるので、ここでは抜粋を資料として提出する。

1. 経済学部カリキュラムについて

- ① あなたはどのコースを選択しましたか。
- ② そのコースを選んだ理由を挙げてください。
- ③ コース制により選択したコースの分野の内容を集中的に学ぶことができましたか。
- ④ 4年間を振り返ってみて、導入教育である1年次最初の基礎演習は有意義でしたか。

2. 語学学習・留学について

- ① 1ヶ国語で6単位以上履修した言語は、どの言語ですか。
- ② 英語以外の外国語をどのレベルまで単位習得しましたか。
- ③ 4年間で海外件をしましたか。

3. 学業・学生生活全般について

- ① 4年間を通じて平均すると授業以外における1日の学習時間はどれくらいでしたか。
- ② 資格（TOEIC, TOEFL iBT, 日商簿記、教員免許）取得について教えてください。

4. 以下それぞれのラーニングアウトカムズ項目について、大学生活でどの程度力をつけることができましたか？

- ① 経済学を用いて、社会現象を複眼的視点から論理的に理解・分析することができる
- ② 数量的・統計的データを正確に理解することができる
- ③ 日本・世界の経済・社会に関する知識を持ち、活用することができる
- ④ 経済問題について、日本語や英語を用いて、他者の考えを正確に理解し、自らの考えを明確に伝えることができる
- ⑤ 世界の多様性、および経済問題・社会問題の多面性を理解し、適切な議論を行うことができる
- ⑥ 経済学の学修を通じて、自らの行動を律し、他者と協力しながら、目標を達成できる
- ⑦ 社会の発展、人びとの幸福への方途を、経済学を用いて提案することができる

5. 就職について

- ① 就職する方は、就職先の業界を教えてください。
- ② インターンシップに参加しましたか。
- ③ ES提出数を教えてください。

資料4： 経済学部基幹科目 履修者アンケート結果

履修者アンケートは科目ポータルを使用し、セメスター最終授業で実施する。(パーセンテージは四捨五入のため、トータルが100ではない。)

(1) 2015 年前期 経済学部基幹科目 ミクロ経済学 アンケート結果

クラス1

履修者 110 名

回答者数 48 名

回答率 47%

この授業は以下の力を養うために役に立ったと思いますか？

1. 「日常の経済問題を理解できる」

非常に役に立ったと思う 58%

多少役に立ったと思う 38%

あまり役に立ったと思えない 4%

まったく役に立ったと思えない 0%

2. 「政策提案を理解し評価するために経済理論を用いることができる」

非常に役に立ったと思う 46%

多少役に立ったと思う 35%

あまり役に立ったと思えない 19%

まったく役に立ったと思えない 0%

クラス2

履修者 126 名

回答者数 63 名

回答率 50%

1. 「日常の経済問題を理解できる」

非常に役に立ったと思う 48%

多少役に立ったと思う 40%

あまり役に立ったと思えない 11%

まったく役に立ったと思えない 2%

2. 「政策提案を理解し評価するために経済理論を用いることができる」

非常に役に立ったと思う 33%

多少役に立ったと思う 52%

あまり役に立ったと思えない 11%

まったく役に立ったと思えない 3%

クラス 1

履修者 122 名

回答者数 85 名

回答率 70%

この授業は以下の力を養うために役に立ったと思いますか？

1. 「日常の経済問題を理解できる」

非常に役に立ったと思う 19%

多少役に立ったと思う 58%

あまり役に立ったと思えない 19%

まったく役に立ったと思えない 5%

2. 「政策提案を理解し評価するために経済理論を用いることができる」

非常に役に立ったと思う 18%

多少役に立ったと思う 51%

あまり役に立ったと思えない 26%

まったく役に立ったと思えない 6%

3. 「社会分析での数量データの役割を理解している」

非常に役に立ったと思う 19%

多少役に立ったと思う 48%

あまり役に立ったと思えない 26%

まったく役に立ったと思えない 7%

クラス 2

履修者 115 名

回答者数 81 名

回答率 70%

1. 日常の経済問題を理解できる

非常に役に立ったと思う 30%

多少役に立ったと思う 53%

あまり役に立ったと思えない 17%

まったく役に立ったと思えない 5%

2. 政策提案を理解し評価するために経済理論を用いることができる

非常に役に立ったと思う 16%

多少役に立ったと思う 59%

あまり役に立ったと思えない 25%

まったく役に立ったと思えない 0%

3. 社会分析での数量データの役割を理解している

非常に役に立ったと思う 19%

多少役に立ったと思う 54%

あまり役に立ったと思えない 23%

まったく役に立ったと思えない 4%

(3) 2015 年後期 経済学部基幹科目 経済と歴史 アンケート結果

履修者 175 名
回答者 108 名
回答率 62%

この授業は以下の力を養うために役に立ったと思いますか？

1. 「社会問題を複数の視点から分析できる」

非常に役に立ったと思う 52%
多少役に立ったと思う 43%
あまり役に立ったと思えない 6%
まったく役に立ったと思えない 0%

2. 「人類の文化・歴史について適切な知識を持っている」

非常に役に立ったと思う 43%
多少役に立ったと思う 50%
あまり役に立ったと思えない 7%
まったく役に立ったと思えない 0%

3. 「日本の文化・歴史について適切な知識を持っている」

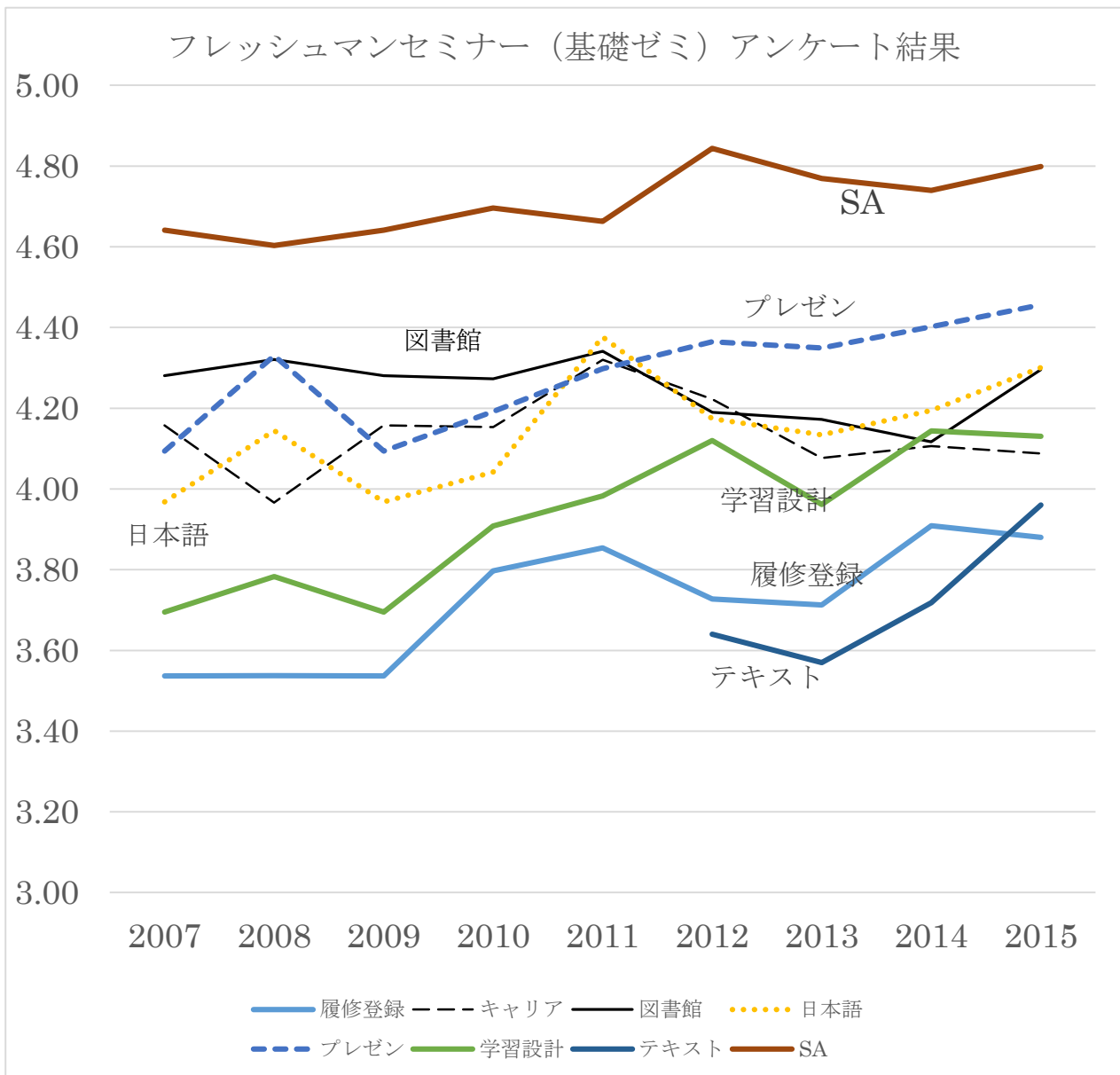
非常に役に立ったと思う 38%
多少役に立ったと思う 54%
あまり役に立ったと思えない 8%
まったく役に立ったと思えない 0%

資料5: 創価大学経済学部 2015 年前期フレッシュマンセミナーアンケート結果

2015 年度

	履修登録	キャリア	図書館	日本語	プレゼン	学習設計	テキスト	SA *
回答数	192	193	193	193	193	192	125	189
平均	3.88	4.09	4.30	4.30	4.46	4.13	3.96	4.80

* SA = Student Aid. 学生アシスタント



資料6: 2009-15年度別 留学生JAS履修者数出身国別報告*(2015.12.22現在)

国数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40		41				
	アメリカ	イギリス	イタリア	イスラエル	イラン	インド	インドネシア	ウクライナ	オランダ	オーストラリア	カナダ	韓国	ガーナ	ケニア	コロンビア	タイ	台湾	中国	中国(香港)	デンマーク	ドイツ	トルコ	ネパール	パラオ	フィリピン	フランス	ブラジル	ブルガリア	ブルネイ	ベトナム	ポリビア	ポルトガル	ザンビア	シンガポール	スリランカ	セネガル	マレーシア	南アフリカ	メキシコ	ロシア	留学生計	日本人	履修者総計			
2015-16	9	1			1	1			1	2	2		2	2				7	1				3		5		1														48	71	119			
2014-15	9	2	1	1		2				1			1	2						2					1																3	34	73	107		
2013-14	7	1		1		4		1			1	1	3	2	1		1	1	1	2	1		1	1	2			1	1													4	44	72	116	
2012-13	5			1		5		1				2	2	3				3	3	2	1		1		3	4		1	1		1											2	1	45	68	113
2011-12	1			1		4	1	1		1	2		1	1		2			1			1			2	1			1	2	1											3	31	55	86	
2010-11	3					4	1			1		1	2				1	2	3							3	1			1	2	1											2	38	91	129
2009-10	3					1	1			2			2				2		4						1	1	1				1												2	25	58	83

* 留学生は、JAS科目を履修した交換留学生、Non-Degree学生、学部留学生を含む。